

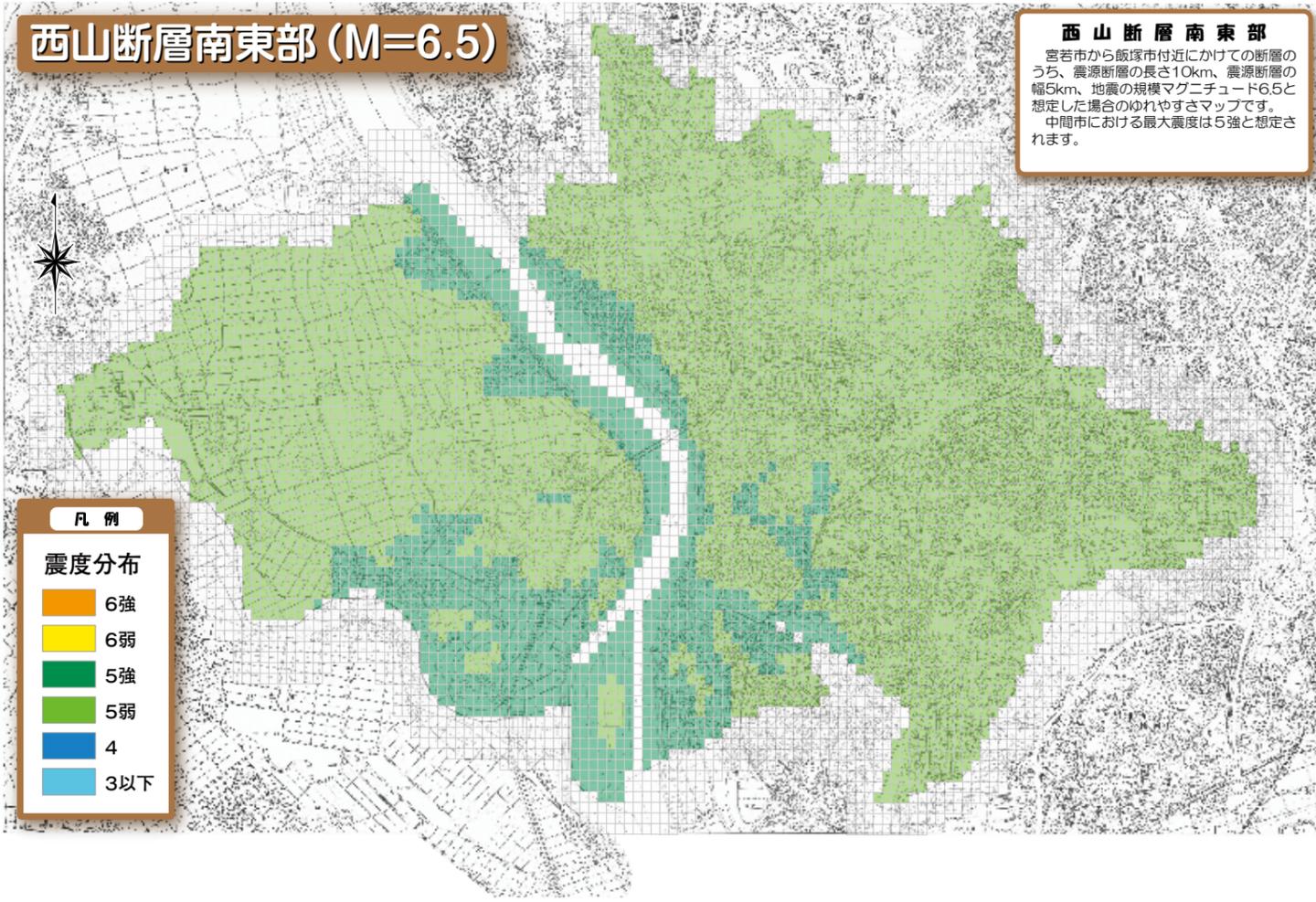
中間市地震ゆれやすさマップ

想定断層位置図



ゆれやすさマップとは、地震が発生したときに、どの程度のゆれの強さ（震度）になるのかを計算し、それを50m四方メッシュ（区画）ごとに表したものです。ただし、ここで示した震度は、想定した地震により起きるゆれの強さであり、地震の発生場所や規模によって、ゆれの大きさは表示された震度よりも大きくなったり、小さくなったりすることがあります。

西山断層南東部 (M=6.5)



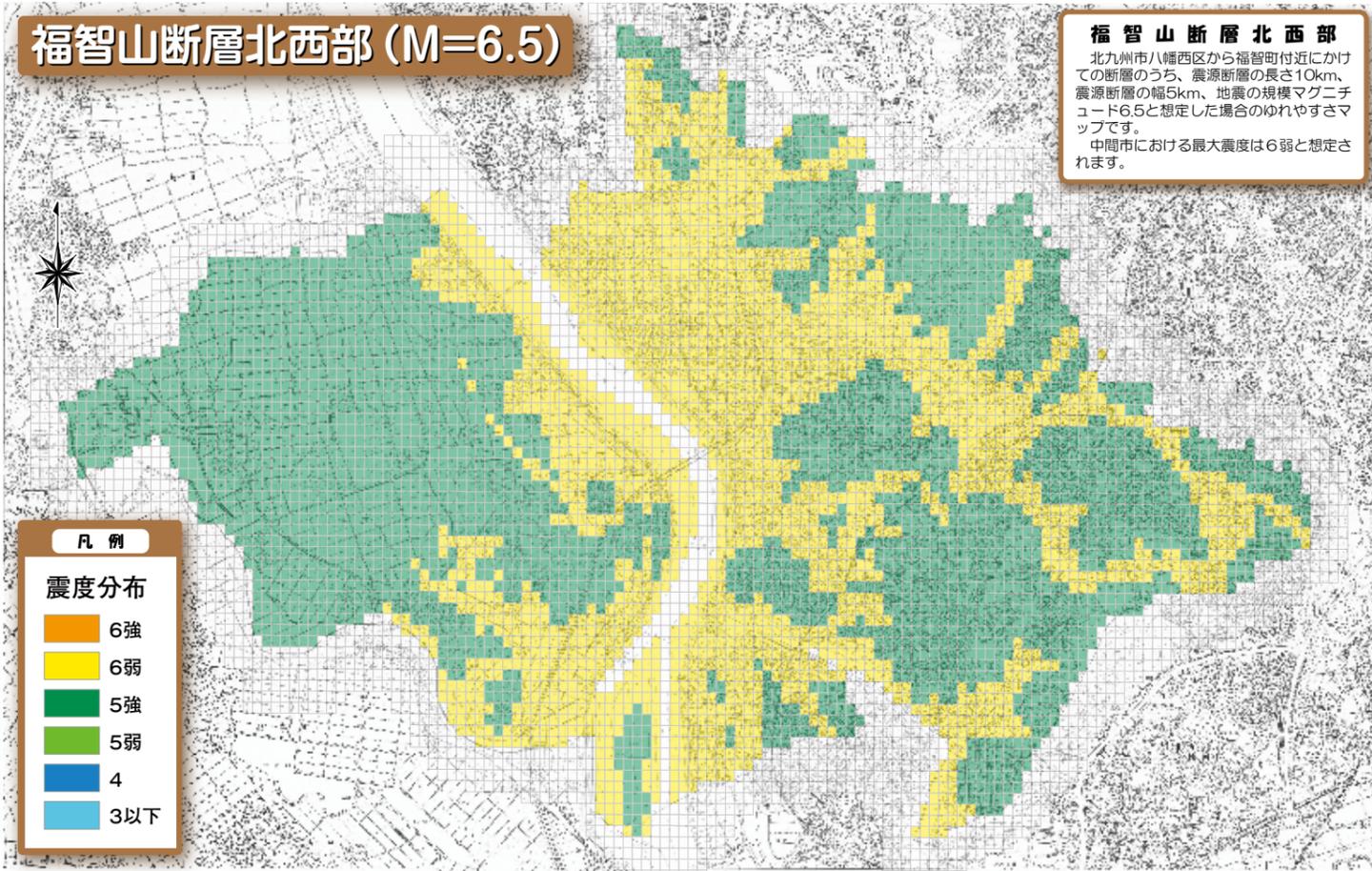
西山断層南東部
宮崎市から飯塚市付近にかけての断層のうち、震源断層の長さ10km、震源断層の幅5km、地震の規模マグニチュード6.5と想定した場合のゆれやすさマップです。中間市における最大震度は5強と想定されます。

凡例

震度分布

6強
6弱
5強
5弱
4
3以下

福智山断層北西部 (M=6.5)



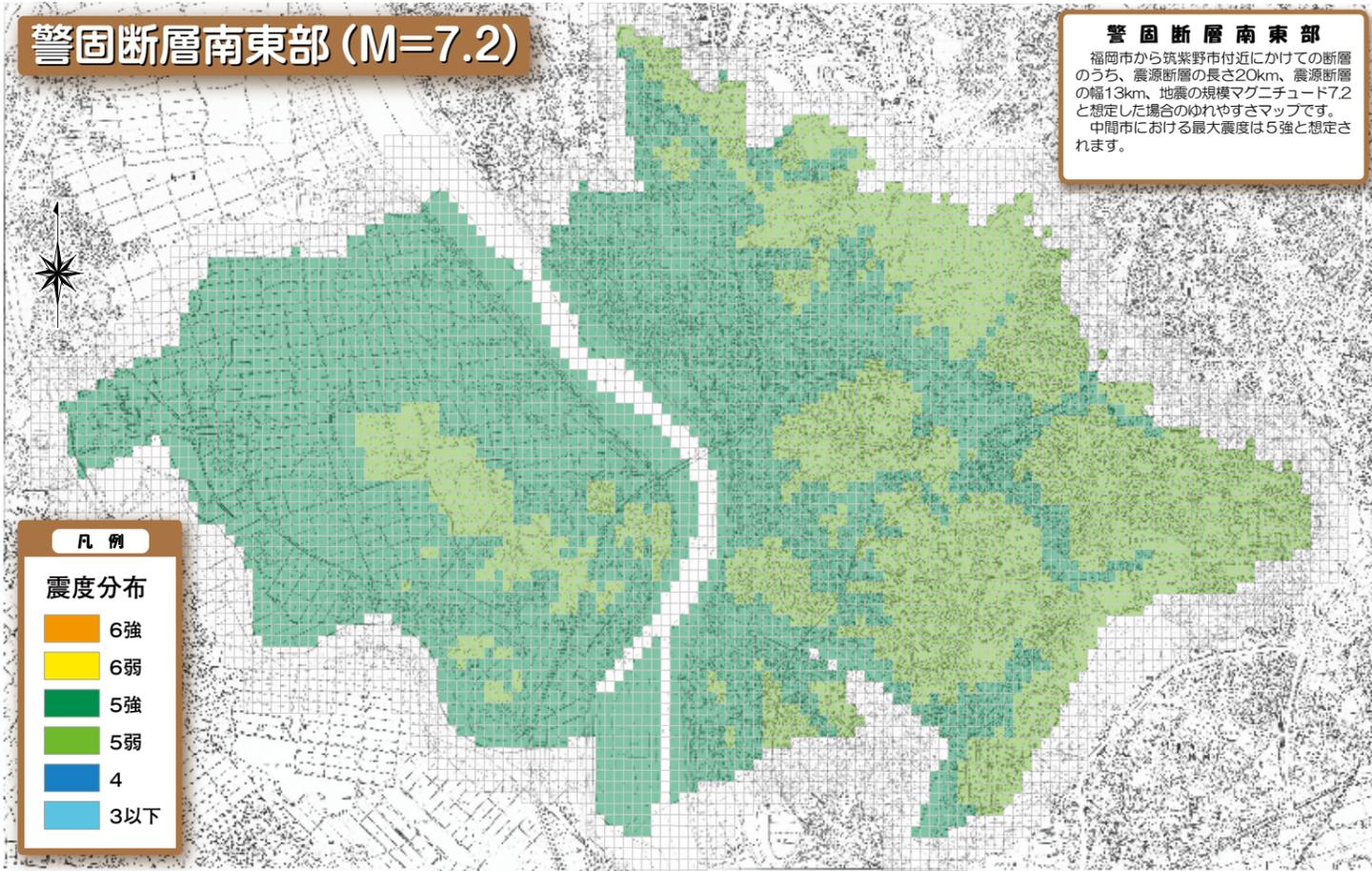
福智山断層北西部
北九州市八幡西区から福智町付近にかけての断層のうち、震源断層の長さ10km、震源断層の幅5km、地震の規模マグニチュード6.5と想定した場合のゆれやすさマップです。中間市における最大震度は6弱と想定されます。

凡例

震度分布

6強
6弱
5強
5弱
4
3以下

警固断層南東部 (M=7.2)



警固断層南東部
福岡市から筑紫野市付近にかけての断層のうち、震源断層の長さ20km、震源断層の幅13km、地震の規模マグニチュード7.2と想定した場合のゆれやすさマップです。中間市における最大震度は5強と想定されます。

凡例

震度分布

6強
6弱
5強
5弱
4
3以下